

写真と短歌・俳句コンテストの入賞者発表

7月19日に、平成30年度「第2回役員会」が鎌足公民館で開かれ、『鎌足桜の魅力』写真と短歌・俳句コンテスト」の審査結果（入賞者）が発表されました。

この日、新会長に就任した田中幸子氏は、「例年よりも早めの開花であったことや、強い風にたたられたようだが、その中にあるにもかかわらず人々をひきつける鎌足桜の魅力を感じさせる作品がそろっているようです。鎌足桜を題材にしたコンテストが、元気で思いやりのあるまちづくりにつながっていくことを願っています。」と挨拶しました。

このコンテストは～あなたの写した写真や鎌足桜の魅力を詠った短歌・俳句を鎌足桜カレンダーにしませんか～と、中学生以上から作品を募ったものです。

地元木更津市はもとより、近隣市や県外から寄せられた写真57作品（17人）、短歌87首（37人）、俳句106句（38人）の三部門を厳正に審査。各部門に会長賞と特別賞、入選24人、佳作9人が選出されました。

これらの作品は8月26日（日）から9月7日（金）まで、かずさアカデミアホール・アートギャラリーに展示するほか、来年の鎌足桜カレンダーの題材になります。

なお、表彰式は9月2日（日）午前10時からかずさアカデミアホール104会議室で行われます。

入賞者は次の通りです。

【写真の部】

- 鎌足桜保存会会長賞 「出会い」 遠藤健二（木更津市）
鎌足地区区長会会長賞 「見上げる春」 吉原邦明（木更津市）
入選「朝の輝き」 春川修夫（木更津市）
入選「青空に咲く鎌足桜」 三沢貞夫（君津市）
入選「山門の桜」 黒須雪美（木更津市）
入選「寄り添うて」 後藤秀美（袖ヶ浦市）
入選「山門に映える」 諏訪貞夫（木更津市）
入選「青空に咲く」 高野文雄（木更津市）
入選「桜咲く通学路」 伊藤洋子（木更津市）
入選「青空高く」 川名国夫（木更津市）
佳作「お散歩日和」 黒須俊夫（木更津市）
佳作「花の競演」 中山要三（木更津市）
佳作「矢那川ダムに咲く鎌足桜」 大岩重利（木更津市）

【短歌の部】

- 鎌足桜保存会会長賞
「紅の蕾のほどけ薄桃に里を染めゆく鎌足さくら」 椎津由子（木更津市）
新千葉新聞社社長賞
「新緑のダムの湖畔にさくら咲く山やはらかに吾をつつめり」 大岩静江（袖ヶ浦市）

入選「観音抱く鎌足桜庭に咲き卒寿を生きる幸思ふなり」西原千鶴子（木更津市）
入選「鎌足の桜のいはれなど話し遠く来たりし兄と見上ぐる」日下部扶美子（木更津市）
入選「見あぐれば鎌足さくら風に舞い杖つく老いの身にふりかかる」原 福一（袖ヶ浦市）
入選「渾身の力持ち孫産まれ来し鎌足桜の咲き初めし頃に」本多二三代（木更津市）
入選「春嵐に葉はひるがえり花震えど鎌足桜は郷に根を張る」見渡信夫（木更津市）
入選「平成の終わりを告ぐる鎌足の里はみどりに花は咲き嗣ぐ」境 克己（木更津市）
入選「やはらかく薄紅色の八重桜いにしへ人は何を語らん」松本キエ子（木更津市）
入選「いにしへのゆかり伝えむ高蔵の鎌足桜今盛りなり」上杉義隆（木更津市）
佳作「ふるき世の伝へを宿し八重に咲く鎌足桜は温もり湛ふ」平野梅子（木更津市）
佳作「みどり児のやわ肌にも似てきわやかに朝日に耀うかまたり桜は」鈴木志津子（袖ヶ浦市）
佳作「遠方より尋ね来たりし旧友に鎌足さくらの由来伝へし」岩澤けい子（君津市）

【俳句の部】

鎌足桜保存会会長賞「梵鐘に人揺れている夕桜」森 孝子（君津市）
鎌足公民館館長賞「幼児の笑う瞳に八重桜」小河原ゆき（千葉市中央区）
入選「野仏の南無阿弥陀仏夕桜」瀬川泰行（木更津市）
入選「さくら観る心に母の指定席」石井紀美子（君津市）
入選「観音の深きまなざし八重桜」保坂ミエ子（木更津市）
入選「いにしへの謂れゆかしき里桜」山本昌子（袖ヶ浦市）
入選「葉もやはら鎌足桜に雨兆す」貝原靖子（木更津市）
入選「梵鐘や鎌足桜ほろり散る」村田満枝（君津市）
入選「咲き満ちて鎌足桜今もなほ」伯ヶ部喜久男（君津市）
入選「寄り添いて鎌足桜仰ぎ見る」古賀壽昭（木更津市）
佳作「にぎり飯食む部活っ子花の下」吉田暁美（木更津市）
佳作「鎌足の桜にやさし郷の人」菊地喜己（君津市）
佳作「鎌足の里より里へ桜かな」北野耕兵（木更津市）